

<http://blogs.yahoo.co.jp/puumaa2/34206394.html>

[都響 \(2010年11月29...](#)

[カルミニョーラ w/t ヴェ...>](#)

エンゲルブレクト:迷惑電話撃退マニュアル (2010年11月30日 木場)

傑作(0)

[2010/11/30\(火\)午後 3:50みました♪♪その他デザイン](#)

 [Yahoo!ブックマークに登録](#)



11月30日、火曜日。

昨日同様、天候快適。

ということで、久しぶりに木場の都立現代美術館にぶらぶらと向かう。
このあたりは夏は容赦ない灼熱、冬はさえぎるものがない寒風にさらされる
エリアにもかかわらず、美術館の場所はどの駅からもまぬけに遠い。
行く時季をよほど選ばないといけない。

今年の夏は、幸い、ぼくの大嫌いな「ジブリ系」の特集をしてくれたの
でまったく行く必要がなかった。
秋になったらまともな企画が蠢きだしたので寒くならないうちに出かけた。

怪しげに魅力的な「トランスフォーメーション展」はひとまず横におき、別
の機会に観ることにする。

まず本日は「オランダのアート&デザイン 新・言語 展」だけ。

かなり「頭でっかち」な作品たちがならぶ。

つまり、デザインそのものの美しさ、というものよりも、観る人も「すこし
は考えてよね」って感じの作品が多い。

だからデザイン的にみてスタイリッシュに洗練されているモノはさほどな
い。

でも、これはおもしろい。

抜群に嬉しい。

アーティストの数は限定されている。

テッド・ノーテン、マーティン・バース、マルティン・エンゲルブレクト、タケトモコ(大阪人)の4人だけ。

詳細は気が向いたときに書きこむ予定。

今回はエンゲルブレクトの傑作を一つご紹介。

その名も「迷惑電話撃退マニュアル」。

会場に大きくディスプレイされているが、1枚ものの「マニュアル」自体、もちかえることができる。

いわゆる、コール・スクリプト。

つまり「こう言われたら」「こう言え」という流れが図示されている。

コールセンターにアルバイトかなんかでお勤めになられた方ならおなじみのはず。

お客に商品売りつける、または「セミナー会場」におびき寄せるための「スクリプト」です。

でもエンゲルブレクトが用意したスクリプトはコールセンターのテレマーケター用のものではない。

その反対。

消費者のための「逆スクリプト」=「迷惑押し売り電話撃退の手順」というしるもの。

休んでいるときでもテレビを観ているときでも、無遠慮に電話をかけてくる販売員=テレマーケターをどうやったら撃退できるか。

エンゲルブレクトはマーケターが本来仕掛けてくる「誘導尋問」を逆手にとって、消費者側がマーケターを「誘導尋問」によって陥れていく手順を抱腹絶倒のスクリプト・デザインでしめしている。

ネタバレになるので内容は書かない。

あはは。

おもしろい。

作品の前でケラケラ笑ってしまい、美術館スタッフに変な顔をされた。

多分、怪しい人物として都庁に通報されたと思う。

1100円。

トランスフォーメーション展とのセットだと1800円。

「...」
二つ観るつもりならセットを買った方が当然にお得です。



(エンゲルブレクトの心理ゲームドアで遊んだら、ぼくは「こういう人」という結果がでました。)



[カードローン今すぐ借りられる！](#)

www.cashing-red.jp